

要 望 書

苫小牧市商店街振興組合連合会

要 望 書

1 市商連への財政支援について

地域の商店会は、住民の消費生活の場として、また地域コミュニティの担い手として地域の活性化や住民の安心・安全にも配慮した活動などを行っております。こうした商店会の果たす役割の重要性に鑑み、本連合会の基盤強化と健全な運営を行っていくため、一般事業補助金の増額を要望します。

2 駅前中心街の再生について

旧エガオビルが閉鎖してから既に4年余りが経過しておりますが、未だに解決に至っておりません。白老町では2020年に向け民族共生象徴空間の整備も進んでおり、苫小牧市においても外国人を含む観光客の増加が見込まれ、苫小牧市の顔ともいえる駅前広場等の再整備が必要と考えられます。今後、エガオ問題の解決が駅前も含むまちづくりに大きく影響すると考えられることから、この問題の早期解決を要望します。

3 地域コミュニティ活性化(とまちョップポイント)事業の継続について

当該事業は、平成28年度から実施しています、しかし、加盟店数やカード発行枚数についても当初の目標数値には至っておりませんし、貯まったポイントの利用や加盟店での買い物時における利用がまだ少ないなど、事業が軌道に乗せられる状況にはありません。しかし、地域循環型の共通ポイント発行事業は地域商業振興及び経済の活性化に資するものであることから、平成31年度以降も引き続き実施するとともに、支援につきましても継続するよう要望します。

4 商店街街づくりサポートセンターの設置について

本市の商店会を取り巻く環境は大変厳しく、売上の不振、経営者の高齢化、後継者問題、空き店舗の増加等問題が山積しています。このような中、商店会を支援する組織を立ち上げ、国市等の支援策を積極的に利用するために、商店街街づくりサポートセンター設立の支援を要望します。

5 地域商店会の環境整備等について

- (1) シンボルストリートが建設されてから26年以上が経過し、歩道の劣化及びガードフェンスの損傷が著しいことから、歩道の整備とガードフェンスの改修を要望します。

(駅前通商店街、駅通中心商店街)

- (2) 双葉三条通（錦岡地区）の歩道及び車道ともに夜間、非常に暗く安全面でも防犯面でも大変危険な状況にありますので、街路灯の増設について北海道に要請するよう要望します。
（錦岡地区商店会）
- (3) ときわ町の中心の市道(2丁目と5丁目)はバス通りであり地域住民が多く利用する通りとなっています。しかし、非常に暗く防犯や安全面で大変危険な状態にありますので、防犯灯・街路灯の増設を要望します。
（ときわ・澄川商店会）
- (4) 双葉三条通（ときわ、澄川地区）の中央分離帯の見通しが悪く危険な上、ゴミのポイ捨てが増えていて景観も非常に悪いことから、草刈り・整備について北海道に要請するよう要望します。
（ときわ・澄川商店会）
- (5) 双葉三条通（ときわ、澄川地区）と市道が交差する数か所に地域住民が安心して買い物や食事に出かけられるよう、事件の抑止や事故発生時の場合の早期解決のため、また、自然災害が起きた時に役立つことから、市道側に防犯カメラの設置を要望します。
（ときわ・澄川商店会）
- (6) ときわ町1丁目21番「飲み食い処嘉門」付近の交差点は、一時停止などの標識がないため、交通事故など危険な箇所となっておりますので、一時停止標識の設置を北海道公安委員会へ要請するよう要望します。また、市が設置可能である注意喚起用看板の設置についても要望します。
（ときわ・澄川商店会）

平成30年11月29日

苫小牧市長 岩倉博文様

苫小牧市商店街振興組合連合会
理事長 秋山集

